

## 9 研究活動と研究環境

### 進捗状況報告

2007年度に商学部教員が刊行した単著は、2冊、編著は6冊あり、また商学部教員に担当した著書の分担執筆は多数あり活発に学術研究の発表をおこなっている。国内での招待講演は、2007年度は4件である。また海外での国際学会への参加、報告も1件あり、国内外で活発に研究発表活動がおこなわれている。

さらに2005年4月に駐日欧州代表部の100万ユーロに上る財政的支援のもとに関西学院大学、神戸大学、大阪大学のコンソーシアムとして開設されたEUインスティテュート関西にも商学部教員は参画しており、国際シンポジウム、国際ワークショップ、国外の研究者の招聘によるEUIJセミナーの開催、運営をおこなっている。これらの国際的な研究活動でも貢献している。

### 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

研究成果の発表状況についてのデータに関しては、信頼性に問題があるのでデータベースへの登録を義務づける等、問題解決に向けた施策が必要である。

### 学内第三者評価

昨年度の評価委員からの意見に対応する記述がない。評価点検作業の実質を確保するために評価結果に対する検討結果の記述が期待される。

— 以下全学共通 —

研究成果の発表状況について以下の表のとおりであることに留意されたい。

学部	年度	著書	論文	レフリー付論文	学会報告	学術発表	翻訳	調査報告	書評	評論	事典	辞典	講演	招待講演	特許取得	特許出願
	2001	20	61	18	20	0	1	9	9	12	0	2	15	2	0	0
	2002	39	70	15	43	0	2	7	12	5	1	8	12	2	0	0
商学部	2003	29	42	10	22	0	2	5	5	5	0	3	6	1	0	0
	2004	25	37	7	21	0	3	3	3	12	1	2	2	0	0	0
	2005	19	30	9	19	0	3	8	1	12	2	8	3	0	0	0
	2006	39	15	11	15	0	0	1	3	13	1	1	8	4	0	0
	2007	15	17	4	17	0	2	3	1	7	0	7	8	4	0	0
計		186	272	74	157	0	13	36	34	66	5	31	54	13	0	0

(基本的な指標データNo9211、「関西学院大学研究業績データベース」に登録されている件数)